

# 「人と人をつなぐ」

# 希望

梶山女学園同窓会会報

## CONTENTS

新しい同窓会会報の創刊に寄せて	01
新しい同窓会を目指して 同窓会会報「希望」創刊号記念座談会	03
創立105周年記念同窓会総会祝賀会	05
委員会からのお知らせ	07
インタビュー 卒業生の今	09
つなぐ 期待する梶山生	11
学園のいま	13
シリーズ 暮らしのお役立ち情報	19
同窓会活動	21
かんたん・おいしい!レシピ	30

創刊号

2011  
vol.01

人見橋

1962



# 新しい同窓会を目指して



学園同窓会会長 加藤 雪枝

東日本大震災によりお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

平成22年11月23日(祝)、椋山女学園理事長椋山正弘先生をはじめ恩師ならびに同窓生が一堂に会して、椋山女学園創立105周年記念同窓会を名古屋観光ホテルにおいて開催いたしました。400余名のご参加を賜り、思い出深い会になりました。厚く御礼申し上げます。

椋山女学園同窓会は104年の長い伝統を受け継いでおります。将来を見据えた明解で秩序があり合理性を重視した新しい同窓会の姿を模索してきました。その結果、学園同窓会を中心に、大学同窓会、高中同窓会を1つの組織、1つの同窓会とする構想がまとまり実行に移しました。

同窓会は各種委員会制度によって運営しています。財務・事業活動・広報・奨学金委員会で企画され実行しています。

その実現に向けて対処するとき、各学校同窓会間の共通の概念、基準が必要であり、時に

は各同窓会委員で構成する連絡委員会を設けることも必要でした。具体的には各学校同窓会への活動費用の配分、会計項目、会報・HP等であります。新しい試みとして平成23年度より大きな行事は学園同窓会が担当し、年1回の講演会と椋山オープンカレッジ連携の同窓会講座を開催し、学園及び地域社会との交流を深めていきます。準会員の支援のため、学園同窓会奨学金を平成22年度に実施しました。経済不況の中、奨学金の重要性を深く受け止め寄付募金活動を行うことになりました。

平成23年4月1日より椋山女学園大学附属小学校同窓会も学園同窓会に参加いたします。

椋山女学園に倣って学園、大学、高・中学校、小学校同窓会が揃い、6支部が加わりそれぞれバランスのある役割の推進が今後の課題と考えます。現在は新しい同窓会を目指し、半ば途中にあります。大きく充実した同窓会から、大きな成果が得られることを確信しております。皆様のご協力よろしく願いいたします。

## 同窓会会報「希望」創刊号記念座談会

一体となった同窓会と母校の発展のために  
各同窓会の代表者の方々にお話を伺いました

同窓会一本化にあたって

**司会(出原)** 本日は、座談会にご出席いただき、ありがとうございます。今後の同窓会のあり方について、ご提言をいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

**加藤** このたび、平成23年に加入する小学校同窓会も含め、同窓会組織の大きな改革が行われました。これにより、小学校から大学・大学院に至るすべての同窓会が一本化されることとなります。学園同窓会としては、本日同席していただいた井上副会長・篠崎副会長とともに、それぞれの同窓会独自の活動を支えつつ、会員の資質向上や地域に根ざした社会貢献などを中心に事業を拡大していきたいと思っております。

**早川** 大学同窓会会長の早川です。これまで卒業生による講演会とティーパーティーを行う「ホームカミングデイ」などの企画を、大学とともに取り組んで参りました。特に、大学創立60周年の際には、養老孟司先生を講師に招き、400名近い参加者で大成功を収めました。今後も、ホームカミングデイの充実などに力を入れていきたいと思っております。

**杉野** 今年、高中同窓会は設立5周年を迎える歩き出したばかりの会です。一人でも多くの卒業生に同窓会活動に参加していただきたいと思っ



性卒業生は、ちょうど定年を迎えられる頃のはずです。

**井上** 各同窓会間で人材交流ができる、さらに大きな成果につながっていくでしょうね。

**加藤** 学園同窓会では中学生から大学院生を対象にした奨学金給付を始めました。

**早川** 奨学金については、厳しい昨今の現状を踏まえ、準会員である在学生の皆様を少しでも支援できるよう、同窓会での奨学金制度を昨年度より立ち上げたものです。奨学金専用口座も案内しておりますので、同窓生皆様のご協力を広くお願いいたします。

います。四月からは、新会長中村恵子さんにバトンタッチいたします。地に足を着けて活動を広げていきたいと思えます。ご協力よろしくお願います。

**司会** ありがとうございます。小学校同窓会のお話が出ましたが、全同窓会がひとつの組織に生まれ変わることで、どのような活動が期待できるでしょうか？

**井上** 小学校は、開校当初は、男女共学だったと聞いています。ですから、小学校同窓会が発足すると、男性卒業生も会員に加わる可能性があるあるんですね。

**篠崎** 女子のみになったのは1964年以降ですから、最後の男

ます。地域の皆さんとも一緒に学ぶ機会を設けることで、地域貢献にもつながり、栢山のネームバリューを高めていけるのではないかと思います。

**杉野** その手始めとして、2011年度のオープンカレッジ後期講座で、卒業生が講師を務めるビーズアクセサリーとシユガークラフトの講座が開催されています。

**早川** 今までも、各同窓会でミニ講座やセミナーなどは開催していましたが、同窓会の一本化後は、またもって取り組めるといいですね。栢山オープンカレッジに連携して開催できれば、より広く参加を呼びかけられますし……。

**杉野** そうですね。今後どのように進めていくのかは、一本化された同窓会の下で、事業委員会が中心となって皆さんと一緒に考えていけるといいですね。

**司会** まさに、新しい同窓会と学園との連携事業といえますね。今後、このような取り組みが広がっていくれば、同窓会と母校の発展につながっていくでしょうね。

## 広報にも力を入れ、全員参加の同窓会へ

**加藤** より多くの卒業生に同窓会に参加していただくことも今後の課題だと思のですが、何かいいアイデアはないでしょうか。

**早川** これまではほかの同窓会の活動については、知らないことが多かったと思います。一本化されたことでホームページもひとつになりましたし、同窓会報も統合されましたから、これからは広報活動を活発にしていることが、まず第一歩ではないでしょうか。

**司会** せっかく会報が届いても、見ていただけないようではダメなので、読みたくなるような工夫が大切ですね。

**杉野** そうですね。子どもの数が減少して、学生集めが厳しい時代ですから、卒業生のお子さんやお孫さんに栢山を選んでいただけるよう、同窓会としても積極的なPRに取り組むべきでしょうね。たとえば、同窓会の会報発行回数を増やすとか、随時ミニ通信のようなものを出すものいいのでは？

**加藤** 若い人向けだけでなく、年配の人のことも考えてつくっていただけたらいいですね。

**井上** 卒業生と一口に言っても、12歳から90歳以上まで幅広いですね。年代ごとの特集を設けると、興味を持って見ていただけるかもしれませんね。学園の歴史の深さも感じたいですね。

**早川** 昨年のホームカミングデイから同じ会場内にて、ティーパーティーと大学同窓会ミニコンサートを行っています。栢大祭との同時開催ですので、多くの卒業生に、ぜひお越し

ただきたいですね。

**加藤** 同窓会の行事に参加する習慣をつけていただくために、気軽に参加できる企画を立てるのも大切かもしれません。

**井上** 栢山歴史文化館を活用するのも一案ですね。完成したときには、同窓会で見学会を実施しましたし、昨年は同窓生の作品展も行われたくさんの方に参加していただきましたよ。

**加藤** 卒業生が保管していた昔の裁縫箱や徽章を寄贈して喜ばれたこともありました。

**篠崎** 今探しているのは、昔の制服についていたベレー帽です。

**加藤** 当時のものが残っていれば、ぜひ同窓会へ送っていただきたいと思えます。

**司会** 新しい取り組みや母校との連携など、今後の同窓会活動に期待が膨らむお話がたくさん伺えました。本日は、ありがとうございます。



後列左から井上緋子、篠崎桂子  
前列左から早川恵子、加藤雪枝、杉野明子(敬称略)

# 創立105周年記念同窓会総会 祝賀会を終えて



平成22年11月23日、名古屋観光ホテル3階那古の間で、梶山正弘理事長、梶山孝金学園長、諸先生方のご臨席のもと、400余名の皆様に参加をもって開催されました。

総会は金剛鐘奏鳴の後、加藤雪枝会長挨拶、役員紹介に続き、名誉会員・永年役員功労者に感謝状・記念品・花束が贈られました。

各代表で加藤元子元会長・中川佐和子前関西支部長よりお言葉をいただきました。祝賀会は、卒業生の中京テレビアナウンサー本田恵美さんの司会で、理事長の祝辞・学園長の乾杯の音頭で始まりま

した。フランス料理に舌鼓しながら、ご来賓の方々の祝辞、津軽三味線のKUNI-KENの余興・学園歌の斉唱と、なごやかな雰囲気の中終わりました。担任の先生を招いてクラス会を開催した学年もありました。

平成21年4月、105周年委員会をたちあげ、余興・司会者・予算等を理事会と協議しながら1年半準備をいたしました。無事この会を終える事ができました。

今までの先輩方々のご苦勞を、身にしみて感じ取る事ができ、本当によい経験になりました。皆様のご協力に感謝いたします。



名誉会員(敬称略)  
左から加藤みき子・山口久子・加藤元子・田村尚子  
猪俣節子(欠席)



永年役員功労者(敬称略)  
前列左から村田眞子・森幸子・中川佐和子・高木節子  
後列左から水野照子・信田常子・寺社下珠江・家田恒子  
岡野千枝子(欠席)・故 安藤静子(11月2日逝去)



同窓生におくられて来賓退場



学園同窓会役員紹介



津軽三味線 KUNI-KEN



受付風景

# 委員会からのお知らせ

## ◆財務委員会

真弓 武子

昨年度より同窓会が1つに統合され、会計も大きく数字が変わってきました。大学同窓会活動費の繰越金を学園同窓会に返金されました。大切に活用する覚悟です。入会金、年会費を有効に活用し活動することは勿論ですが、金利の低いなか、財務として少しでも有利な預金をと努めています。少子化の影響を受け将来学生数の減少、即ち入会金の減少を考慮すると年会費を少しでも多くの方に協力いただかなくてはなりません。

母校の発展のため、皆様の温かいお心をお寄せいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

## ◆事業活動委員会

高木 節子

同窓会は今年度より、学園同窓会、大学同窓会及び高中同窓会が1つの組織として新たに椋山女学園同窓会の名称でスタートしました。事業活動委員会は次の事業活動を計画しました。(1)学園同窓会奨学金事業の拡充(2)新規事業の立ち上げ「新講演会」「同窓会オープンカレッジ」の開催(3)遺贈による寄付制度「椋山女学園遺贈基金へ」などです。詳しくは以下をご参照ください。この新規事業に是非ご理解、ご協力ご支援をお願い申し上げます。

## 学園同窓会奨学金 寄付のお願い

椋山女学園創立105周年を記念して平成22年中学校、高等学校、大学、大学院の生徒・学生を対象にした奨学金制度を創設しました。

現在の世界経済不況の下、学業の持続困難を訴える優秀な生徒・学生が多く、同窓会では奨学金基金の増大を図り、この事態の早期打開に微力ながら力を尽くしたいと思えます。

これを支援することによって、椋山女学園に脈々と流れる豊かな温かい精神を助長し、より強固な関係を醸成することが同窓会に求められる最も重要な使命であると考えます。

つきましては、本事業の趣旨をご理解いただき、寄付へのご協力・ご支援をお願いいたします。1口1000円とし何口でも可とさせていただきます。

ご寄付をいただいた方は会報にお名前を記載させていただきます。

### 〈振込先〉

■三菱東京UFJ銀行 星ヶ丘支店  
普通預金 0080265  
(手数料：振込者負担)  
■ゆうちょ銀行  
口座記号番号 00840-5-206932  
振込先 椋山女学園同窓会  
(手数料：同窓会負担)

## 遺贈による 寄付制度について

椋山女学園では優れた教育と研究をさらに発展させるために遺贈による寄付金を受け付けています。本学園の卒業生や一般有志の方で、個人の所有する資産を将来ご本人が逝去された時に、その資産の全部または一部を本学園に遺贈していただき、遺贈された資産を本学の教育・研究活動の財源として活用させていただくものです。

本学園では遺言信託に関する相談窓口として、中央三井信託銀行を紹介させていただきます。専門スタッフが相談をお受けします。

### 〈税の優遇措置〉

学校法人への財産の遺贈があった場合は、その遺贈した財産は相続税の非課税財産となります。

### 〈お問い合わせ〉

学校法人椋山女学園(財務経理課)  
052-781-1186(代表)  
椋山女学園同窓会  
052-781-5952

# ◆広報委員会

## ① ホームページ

下野 房子

今春、同窓会ホームページが一本化され美しく生まれ変わります。同窓会活動の内容をわかりやすくお知らせします。まずご覧ください。同窓生のページには同窓生の皆様からのお便りもしつかり載せます。皆様のような活動や投稿などお便りください。お待ちしております。携帯電話からもOKです。これまで一度もホームページをご覧になったことがない方も是非アクセスしてください。(QRコードは「会報」の裏)見てわかりやすい魅力あるページを目指してがんばります！



<http://www.og.sugiyama-u.ac.jp/itogiku/>

## ② 会報

出原 愛子

学園、大学、高校中学の同窓会の一本化に伴い、会報もひとつになり新たに「希望」として創刊となりました。創刊テーマは「人と人をつなぐ」。卒業生、在校生の活躍、同窓会の活動や学園の今を伝えるページが

らなり、人そのものにスポットをあてたものや人同士のつながりからなる企画となっています。今年度より小学校も加わり、全体の様々な同窓会活動に参加しやすくなるような、同窓生をつなぐ架け橋となることを願っています。

## ③ 糸菊

佐々 雅代

糸菊は栢山女学園設立当初から現在に到るまで毎年発行されている学園の情報誌であります。栢山女学園の幼稚園から大学院までの現在の状況や様子がよく理解できます。この糸菊の初版から現在にいたる全冊が栢山歴史文化館のコーナーに陳列されています。

これは栢山女学園の歴史そのものであります。この12ページを学園同窓会が担当しています。同窓会では年会費2000円納入者に会報と共に糸菊を配布しております。是非年会費を納めていただき同窓会と栢山女学園へのご関心とご理解を賜りますようお願いいたします。

## ◆奨学金委員会

加藤 雪枝

平成22年度、学園同窓会奨学金制度を中学・高等学校の生徒、大学・大学院学生を対象として実施しました。推薦を各学校にお願いしました。大学生3名、高校生4名、中学生4名が推薦されました。平成23年1月奨学金の給付終了に際して報告書が届きました。そこには奨学金によってこれまで以上に勉強により環境を与えていただいたとの謝意と目標に向かって語学などの新しい分野にも挑戦できたこと、希望した職種に就職ができたこと、大学院合格などが記載されておりました。同窓会奨学金の重要性を身近に感じました。

## 東日本大震災 義援金募集について

このたびの東日本大震災で被災地域に三九名の卒業生がお住まいでした。電話登録のある三二名に現況確認を行ったところ、ほとんどの方の安全が確認できましたが、職場が津波の被害にあわれたり、繰り返しされる余震の恐怖など、想像をはるかに超える状況に言葉を失いました。

つきましては、復興支援のため同窓会より一〇〇万円、同窓会員として一六万四五〇〇円を栢山女学園を通して東日本大震災の義援金として寄付致しました。

今後も引き続き募金活動を行って参ります。学園の義援金振込口座は下記のとおりです。被災地の皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げますと共に一人でも多くの方々にご協力を頂ければ幸いです。

### 〈義援金の振込口座〉

三菱東京UFJ銀行  
星ヶ丘支店 普通預金 0082636 栢山女学園義援金口  
(スギヤマジョガクエンジニアングチ)  
※送金手数料はご負担いただくこととなります。

第1期:平成23年3月17日(木)から  
平成23年3月31日(木)まで  
第2期:平成23年4月 1日(金)から

卒業生

の  
今

TAKAKOさん

Beauty Creator



## “美”の先に見えてきたもの それは、椋山の教えでした

椋山時代から女性をプロデュースすることが好きだったというTAKAKOさん。

心もHAPPYにするメイクの提唱者に、“人間の本当の美”について語っていただきました。

「私たちは妖怪だったのかしら、ねえ?」。そういつて屈託のない笑い声を響かせるのは、ビューティ・クリエーターとして世界的に活躍するTAKAKOさん。同窓会報の取材だと告げると真つ先に話題に上ったのが、「人間になろう」という校訓のことでした。「今でも当時の友達と会うと、そういつて笑い合っんですよ(笑)。でもね…」と、少ししみじみした声でTAKAKOさんは続けました。「卒業して20年以上かな。40代に突入して、ようやくその意味が分かっただけなんですよねえ」。

TAKAKOさんが椋山女学園高校を卒業したのは1987年。直後にロンドンへ渡り、ヘアメイクアップ・アーティストに。現在はコスメやパワーストーンなど、世界中から発掘してきたビューティアイテムを紹介する仕事もしています。「椋山は、おとなしい感じの人が多いですね。私は親公認で夜遊びもしたし、どっちかといえば異色の生徒だったと思います」。文化祭では、引つ込み思案なクラスメートを表舞台に引っ張り出すなど、女の子をプロデュースするのが楽しかったと振り返ります。「今の仕事にも通じるものがありますね。ビューティ・クリエーターって、本人も気づいていないような、内面の魅力を引き出す仕事なんです」。そのために必要なのは、真剣に相手と向き合い、心の声に耳を澄ますことだとか。「だから、人と会う前には、まず、心の履き物を揃える“ことを心がけています。慌てていても、玄関では履き物を揃えなくちゃ…」と思うのと同じです」。

2年前に脳梗塞を患って以来、仕事もプライベートも、真剣味が違ってきたと語るTAKAKOさん。「生きていければいいこともありますが、日々感謝して懸命に生きていくと、人間の本当の美しさが内側から滲み出てくるんです。そ

ういう美を追求してきたからこそ思うのですが、『人間になろう』という校訓は、“自分の内面を魂を磨け”ということなのではないでしょうか。椋山の子は家庭的に恵まれているせいか逆境に弱い気がしますが、つらいときこそ魂を磨くチャンスだと思つて、もつとたくましく輝いてほしいと思います。豪快さと繊細な気配りが同居する、力強い言葉が印象的でした。

### TAKAKOさん

愛知県生まれ。中学から椋山女学園に通い1987年高校卒業。ロンドンでヘアメイクや特殊メイクを学び、ニューヨークで有名ファッション誌やハリウッドスターのメイクを手がける。心もHAPPYにする愛されメイクの第一人者。自身のセレクトショップ「Takako Beauty Voyage」の運営するほか、イベントやラジオでも活躍中。2010年には北海道知事より「北海道コスメ・ビューティ大使」に任命される。北海道の食材で北海道で作られた化粧品「北海道コスメ」を広めるとともに、地元の方とこだわりの化粧品のプロデュースもしている。



ガゴメ昆布エキス入りのドーナツ型ソープと甜菜由来の砂糖を使ったシュガースクラブでお肌イキイキ、つるつる!

オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/takako-ameblo/>  
セレクトショップ <http://www.takakobeauteyvoyage.com/>

## 本田 恵美さん

中京テレビアナウンサー

### 今も“人間”になる過程 校訓は一生の課題です

105周年の同窓会祝賀会の司会も務めていただいたアナウンサーの本田恵美さん。

「一生の友達を得た」という栢山時代に学んだことを楽しかった思い出とともに振り返っていただきました。

「緑が豊かで、のんびりした雰  
囲気でしたね」と、郊外にある日  
進キャンパスを懐かしむ本田恵美  
さん。中京テレビのアナウンサー  
として、東海地方ではお馴染みの  
顔でもあります。

三重県出身の本田さんは、  
1992年、栢山女学園大学人  
間関係学部に入學。コミュニケー  
ション学や心理学などを学びまし  
た。「大学で学んだことは、アナ  
ウンサーの仕事に役立っています  
が、やはり、それ以上に貴重だっ

たと思うのは、友人との出会いで  
す。学芸員の資格を取るための  
授業で、みんなでワイワイいいな  
がら美術館を巡ったのもいい思い  
出。女性ならではの恋愛相談や  
就職活動での悩みなど、本当にい  
ろんなことを語り合いました。大  
学時代の友人とは今も交流があ  
りますし、彼女たちから学んだ  
ことが多かったですね

現在、アナウンサーとして力を  
入れているのは、フィギュアスケー  
トの取材。「実は最初、フィギュ  
アつてよく知らなかったんです」と  
苦笑する本田さん。選手たちと  
仲良くなるとうと、試合以外でも  
何度もリンクに足を運ぶうち、そ  
の奥深さや選手のすごさを知り、  
すっかりファンになってしまったの  
だとか。「仕事上で心がけている  
のは、いつも好奇心を忘れないこ  
と。そして、取材相手にはなるべ  
く素直な気持ちで接することで  
す。アナウンサーの仕事は、いか  
に取材相手に心を開いてもらえ  
るかが勝負なので、自分自身が飾  
らずに接することが大切なんです  
よ」。でも実際は、取材相手を傷  
つけてしまったり、失敗も数限り  
なくあるんだとか……。そんなと  
き本田さんは、栢山女学園の校  
訓「人間になろう」を思い出すとい

います。「学生時代は怖いもの知  
らずで、自分は何でもできると信  
じていました。だから、『人間に  
なろう』なんていわれてもピンと  
きませんでした。それが、社会に  
出て壁にぶつかったり、失敗した  
り、いろんな人と出会って自分の  
小ささを思い知ったとき、初めて  
その意味が実感できたんです。学  
生時代を振り返ると、『うん、確  
かにまだまだ人間“じゃなかった  
な”と感じますね(笑)』。

校訓を二生の課題と受け止めて  
いる本田さん。「今も、人間にな  
る過程です」と、背筋を伸ばすの  
でした。

#### 本田 恵美さん

三重県生まれ。1992年、栢山  
女学園大学入学。人間関係学  
部で学び、1996年3月卒業。  
中京テレビにアナウンサーとして  
採用され、現在、「ストレイト  
ニュース」、「ラッキーブラン  
チ!!!」などに出演。フィギュアス  
ケートの取材に力を入れている。



本田恵美ブログ「女の花道」<http://weblog.ctv.co.jp/ehonda/top>

椋山女学園と共にあゆむ同窓会  
百年の歴史を「つなぐ」未来への百年

— 織糸の絆 —

## 明るく伸び伸び

## 女性パワーを培った椋山

中山香扶里



左から神部侑加さん(妹)、中山沙侑美さん(次女 中2)、中山香扶里さん(本人)、渡邊裕代さん(母)

次女の入学を機に改めて母校の素晴らしさを感じました。娘は五年生の時に椋山を受験したいと言いました。私は今迄忘れかけていた椋山の思い出が蘇りました。二年間の塾通いの送り迎えと自分の日々の生活の時間のやり繰りが一番大変でした。

オープンスクールでのテニスの体験では塾ばかりの生活から離れた日頃に無い娘の笑顔を見ただなど感じました。

22年振りに見た校舎は大変綺麗で、明るく伸び伸びとした生徒達を見て、是非入学して欲しいと強く感じました。母と妹と参加したランチルームでの同窓会では、太田先生、高2の担任だった堀先生が教頭先生になられていて、年月を感じました。仲本先生のお話も好感が持って興味深く聞き、この学校ならば安心して通わせられると思いました。受験者数が千人近く今迄にない競争率で、合格と聴いた時は心から泣いて喜びました。親娘共々、受験戦争から解放され、娘も普通の子供に戻った感じでした。卓球部の個人大会では2位を獲得し、その後も日々の練習に意欲を燃やしています。最近では、母と妹が三味線をしているおかげで、土曜講座のお話しも頂き、より椋山との距離が近まりました。

母は伝統ある長唄師匠として一筋に女手一つで私達姉妹を椋山に通わせてくれた事に尊敬の念と感謝でいっぱい、女性力の凄さを誇りに思います。椋山生という繋がりで、価値観が同じ何のわだかまりなく学生時代に戻った感覚で笑って過ごせる同窓会、三代椋山に通えた事は財産です。

### みなさまへ

このシリーズは、親子や姉妹がともに同窓生、あるいは職場やご近所グループが同窓生など、椋山女学園と深い絆で結ばれた方々をご紹介します。お知り合いの方はいらっしゃいませんか？自薦他薦は問いません。同窓会事務局 ☎052-781-5952



S35高 渡邊裕代 (高3中庭にて)母



H1高 中山香扶里 (高2修学旅行にて)本人



H3高 神部侑加 (高3卒業式噴水にて)妹

# 常に自分色の太陽

人間関係学部3年 鈴木 華子

2011年1月25日。私は新たなスタート地点に立ちました。約1年前、新しい「自分」を見つけ見直せるチャンスだと思い、「ミス日本コンテスト」に応募し、2010年度ミス日本ネイチャーという素晴らしい賞をいただきました。そして、賞をいただいた瞬間、胸の高鳴りを今でも強く覚えています。

1年たち、いろいろなお仕事を過ごし、ありのままの自分が出せたこと、物事に対し積極的になれたこと、最後まで力を尽くし頑張れたこと、自分自身とても大きく成長できたと思います。そしてミス日本ネイチャーとしての任期を終え、一期一会の日々の中、あつという間の1年間でした。楽しかったこと、辛かったこと、嬉しかったこと、悔しかったことたくさんありました。しかしこの1年は私にとって宝物のよくな日々ばかりでした。今後「鈴木華子」を見失わないよう、座右の銘である「常に自分色の太陽」をテーマに地道に努力したいです。そして今まで私を支えてくださった方に感謝の気持ちを忘れずに日々精進して参りたいと思います。



## ミス日本ネイチャーとは

歴史ある、ミス日本コンテストにおいて選考される「ミス日本ネイチャー」とは、環境問題に取り組むシンボリックな存在を目的としており、ボランティアマインドの実践に加え、ごみ問題や地球温暖化等の問題に対して個人の模範として率先して行動し広い啓蒙活動に努める存在である。また、それらの活動に参加することで国民への活動啓蒙や活動意義の周知役を担う役割を果たしている。

今この瞬間が新たなスタート地点です。一瞬瞬間を大切に・・・これは理想ですが、私の笑顔でたくさんの方が笑顔に、そして幸せになつていただける素敵な女性になりたいです。

## 期待する相山生

# ニュージーランド留学を体験して

高等学校1年 小島 菜帆

私は、平成22年7月17日から9月24日までニュージーランドのウェリントンにあるQueen Margaret Collegeに短期留学しました。

ホストファミリーは、お父さんとお母さん、一つ年上のお兄さんのモーガン、QMCに通うインディアの4人でした。洗濯や朝食や弁当づくりは自分ですることがルールでした。最初は戸惑いましたが、台所や冷蔵庫のものは自由に使うことができ、自分の家のように生活していました。昼食はバックランチという、果物を丸々1個とお菓子やドライフルーツなどを詰めた物でした。毎週日曜日の朝と夜には教会に行き、ニュージーランド人の普段の生活を体験できました。授業は日本とは異なり選択制で、私の英語力を考慮し多くの実技教科を用意してくれました。特に印象に残った教科が、音楽、体育、家庭科、数学です。また、私がチェロを演奏することから、毎週金曜日のお昼に、オーケストラの練習に参加し、8月の定期演奏会に参加しました。また、9月の中2の演劇・ミュージカルでも伴奏をしました。木曜日には学校で個人レッスンも受けました。オーケストラに参加したことで、クラス以外にも多くの友達ができ、授業後はよく友達

の家に遊びに行きました。

この留学を振り返り、一番の思い出は多くの友達が出来たこと、ホストファミリーと家族の一員になったことです。積極的に英語でコミュニケーションを図ったことが、英語の上達につながり、多くの人と交流することが出来ました。お母さんからは、最初はYESとしか返事できなかったのに、だんだん上達したことをほめられました。また、日本で幼い頃から習っていたチェロをきっかけにフィルハーモニーに参加出来たことや最後の全校集会では、ピアノの演奏者と二人で入退場の演奏をしました。言葉や国籍や生活文化が異なっても、人間として大切な事が何かを感じることが出来ました。



(本人:1番右端)

希望(のぞみ)創刊号に寄せて

理事長 梶山 正弘

同窓会に期待するもの

学園長 梶山 孝金

梶山女学園同窓会と梶山女学園大学同窓会の組織が統一されたのに伴い、「同窓会だより」と「大学同窓会会報」に代わり、「希望(のぞみ)」にリニューアルして発行されることになるそうで、慶ばしい限りです。

いま、無縁社会などと言われ、話し相手がいない、支えてくれる人がいない人が多くなりつつあるといわれていますが、同窓生は頼りになるものです。引越をして知り合いもない土地で、同窓生に会えた時の喜びは大きいということをよく聞きます。子どもの友達の親が同窓生であることがわかると心強いといえます。母校の縁故を頼ることは決して恥ずかしいことではありません。これはむしろ人脈であり、卒業生の財産であると考えていいのです。

学園同窓会は学園内の大学、高等学校、中学校の卒業生を会員として構成されています。このたび小学校の同窓会も統合されることになっているようで、梶山女学園という名を冠する学園内の各学校の同窓生が、同期卒業の横の関係を基盤として、先輩後輩といった縦の関係もでき、会員相互の親睦を深め、講演会や研修



会、趣味の会など、活発に活動されることが期待されています。

このたび、梶山女学園同窓会が新しい体制を整えられ、これを機会に「同窓会だより」も「希望(のぞみ)」として装いを新たに発行されるの由、誠に目出たくご同慶の至りであります。

さて、本学の同窓会は、学園創設時、「和風会」として出発したと『学園五十年史』に記されており、そして、同窓会会員室として大ホールが建築され、「和風堂」と名付けられました。この和風堂は同窓会員の会合は勿論、やがて学内の挙式、集合場ともなり、生徒修養の聖堂ともなつて存置しましたが、惜しくも戦災で焼失いたしました。しかし、今日では、山添キャンパスに「和風館」としてその名を継承した施設(体育館兼講堂)が存在することは「高承の通り」であります。

創設者・梶山正式先生はこのように開学当初より「和の精神(和風)」を学園に根付けさせようと努力されました。中国の古典に「天の時、地の利、人の和」という格言がありますが、創設者は晩年、「学園の発展には、とりわけ「人の和」が大事であります。どうか教職員の皆さん、宜しく」と遺言的言葉を遺してご逝去されたと聞いております。

そもそも日本は「和の国」と言われております。かの聖徳太子も「和を以て貴しとなす」と憲法に唱われました。また、次期宇宙船船長に任じられた若田光一氏も「和の心」を持って宇宙船チームをまとめて行きたい、と言われました。このように我々日本人はよく「和」という言葉を使いますが、和は

妥協して同化することではありません。孔子は「君子は和して同せず、小人は同じて和せず」(論語)と申しました。「和」とはすなわち、自らの主体性を固持しながら他と協調することで、それぞれ君子の作法であり、それに対して「同」とは、自らの主体性を失って他に妥協することだといふ。私は創設者が意図された「和風」の「和」も同じだと思いません。

総合学園としての梶山女学園同窓会は、小学校同窓会、高中同窓会、大学同窓会の連合組織ですから、とりわけ「和」の精神(「和風」)が大事だと思います。



小学校の現状

小学校校長 宇土 泰寛

附属小学校は、グローバル時代の「人間になろう」を目指して、ひらく・共生・未来志向のビジョンのもとに学校改革を進めています。学力向上はもちろん国際性などの資質形成に力を入れ、西アフリカのブルキナファソ国への支援や交流、チエコとの絵画交流など国際交流も行っています。また、今年度から、少人数での毎日英語を実施し、世界の人々とのコミュニケーションツールとして使用できるレベルに引き上げたいと考えて、取り組み始めました。

附属小学校は、昭和27年(1952年)に開校し、来年度、60周年を迎えます。小学校の文集「なかよし」の第1号や10周年の特集を読んでみましたが、本校がいかに先進性に富んだ試みを実施していたかがわかりました。英語は、昨年まで週2時間でしたが、創立当初は3時間も行っていたのです。そのねらいや指導方法も極めて時代の先を見たものでした。この創立時の先進性を再び呼び起こす、まさに「梶山ルネサンス」として学校改革を進めていくことが大事だと痛感しています。

このような改革の原動力は、本校の第1期生から綿々と続く同窓の方々のお力だと思えます。先進的な未来志向



があつてこそ、栄えある伝統も築かれていくものと考え、更なる未来への希望(のぞみ)をもつて、同窓会のお力もお借りしながら、世界に羽ばたく小学校へと改革を進めていきたいと思っております。

小学校の同窓会参加

小学校同窓会会長 池田 寿子



この度、梶山小学校同窓会は学園同窓会に入会させて頂くこととなりました。秋にはお祝いの会をします。

梶山小学校は昭和27年に東下、唯一の私学の小学校として、また一貫教育という点においても注目される中、開校いたしました。

昭和30年から三年間に男女含めまして12名の方の卒業がありました。その後、昭和33年に第一期生が卒業し、その後平成22年度卒業までの卒業生総数は2005名となっています。そして現在の在校生は351名でございます。

来年度、2012年には、感動の60周年を迎えることになっております。学園同窓会の皆様のご指導とご協力を賜りながら、小学校も同窓会の基盤を本年度より固めてまいりたいと思っております。この紙面をお借りいたしましてお願いとなりますが梶山小学校を卒業されました皆様の現況あるいは情報など学園同窓会にお寄せ頂ければ有り難くおもいます。

小学校同窓会役員は以下5名にて改めて発足いたしました。

- 会長：池田寿子
- 副会長：矢島道夫 落合美恵子
- 書記：間下ゆかり
- 会計：和波恵里



初期男女共学の頃



水泳授業



登校風景

## 中学校・高等学校校長就任挨拶

中学校高等学校校長 河野 庸介

栢山女学園中学校・高等学校の校長として、この4月より赴任いたしました河野庸介と申します。どうぞよろしく願います。私は、昭和二十六年に伊豆の大島で生まれました。どこまでも広い太平洋と青空の下にゆるやかな曲線を描いて聳える三原山が私の故郷の風景です。自然に恵まれ、温かな人情が交錯する中で過ごした日々は、今振り返れば、貧しくはありませんが精神的にも物質的にも何一つ不足のない時代であったと思っています。

月日が過ぎ、伝統ある本校の校長職を拝することとなり、身の引き締まる思いで毎日を過ごしております。着任以来二週間、そんな私を励ましてくれるのが本校の明るく屈託のない生徒と熱心な教職員です。今、私は、幼い頃に恵まれた自然の中で過ごしたように、栢山女学園という恵まれた教育環境の中にこの身を置いていてこの痛切に感じております。この素晴らしい教育環境をさらに充実させ、本校に通う子供たちの学校生活をより実りあるものにするために全力を尽くそうと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



高等学校教頭 中島 義秋

## 高等学校教頭就任挨拶

今年度より高等学校教頭に就任しました中島義秋です。栢山女学園のさらなる発展のために微力ではございますが、尽力して参りたいと思っております。

さてこのたび同窓会の新たな会報誌として『希望』（のぞみ）が創刊されること、お祝い申し上げます。本学園の歴史と伝統を引き継ごうという同窓会の皆様の愛校心の強さをひしひしと感じます。昔では最近「絆」という言葉がキーワードとなっているようです。この『希望』が、栢山女学園の同窓生はじめ、全ての栢山関係者の「絆」を強めてくれるものになると感じたいと思います。

ここ数年、中・高でも同窓会からの奨学金支給、体育祭、文化祭等での飲み物等物心両面にわたるご支援をいただき、この場をお借りして感謝申し上げますとともに、今後とも中・高の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## クイーンマーガレットカレッジ

前中学校高等学校校長 梶田 正巳

昨年7月、ニュージーランドの私立女学校に、中学生、高校生の二人を奨学生として出した折の話。校長にお目にかかり「チェロの上手な生徒です」と耳に入れた。すると、その日の午後には、音楽教師が腕前を試して合格、即日オーケストラの一員になった。短期留学である、楽器など持参しているわけではない。しかし、どこでも練習できるようにと、学校用、家庭用2台のチェロを貸し与えたのである。首都ウエリントンでチャリティー・コンサートに出演したり、多数生徒の前で独奏をしたり、言葉は不十分でも、カレッジの人気者になって適応し、大感激の留学生活をおくった。校長と意見を交わして、教育について確固たる「信念」のあることに気づいた。受け入れる児童生徒、学生には、一人ひとりの特徴、個性に応じて最大限に応える。卑近な言葉では、どの子どもにもそれぞれ「特別扱い」し、指導の差異にまったく躊躇しないということであった。学校、大学とはまさしく「特別扱いの集合」なのである。他人と比べて扱われているか、ということよりは、自分の個性、特徴が大切にされているか否かが最大の関心事である。豊かな社会で生きていくわれわれ日本人も、他と比較するのではなく、それぞれの個性を伸ばすことに、もっと大きな関心を向けてはどうだろうか。こんな文章を書いたあとで、ニュージーランドでは大地震が起きた。震源は南島のクライストチャーチ。主都にあるクイーンマーガレットカレッジとは相当離れているが、校長先生と連絡をとったら、まったく心配はないという。安心したところであるが、今度は、東北から関東地方が津波と大地震に見舞われた。災害は忘れないうちにやってくるこの頃だとつくづく感じている。



高等学校教頭 堀 孝宏

## 「希望」創刊によせて

このたびの「希望」創刊、誠におめでとうございます。また、日頃より中学校・高等学校の教育活動に対する、ご理解とご協力に感謝いたします。文化祭での優秀クラスへの糸菊賞をはじめ、体育祭での生徒全員への飲み物、卒業生への記念品等々、物心両面でのご支援、大変ありがたく思います。

加えて今年度より新設していただきました「栢山女学園同窓会奨学金」につきましては、中高で8名の生徒に給付（各自5万円）いただき、今後の学業奨励や技術の助長並びに生活向上に役立たせていきたいと思っております。昨今の不況の中、こういった支援があることが大きな意味を持つことには言うまでもありません。

過日お招きいただきました同窓会の105周年記念式典では、400名を超える参加者のもと盛大に開催され、栢山の伝統の深さと、同窓生の皆様の学園に対する愛情と誇りをしみじみと感じ取ることができ、大変うれしくもあり、また教職員としての責任の重さを再認識させられる思いでした。今後とも同窓会が盛大に発展されることをお祈りいたします。



## 創刊によせて

前高等学校教頭 太田 ふみ子

日頃は中学・高校の教育にさまざまなご支援を賜り、篤く御礼申し上げます。このたびの「希望（のぞみ）」創刊、まことによろこばしいこととお祝い申し上げます。

若いころは「伝統」とは、重苦しい「枷（かせ）」のように感じたりしていました。自由に、個人自由、自身の考えるところに従って、責任を以て誇りある行動をとればよいと考えていました。

ところがこの栢山で39年教員として勤める中で、考えが少しずつ変わってきました。加齢のせいばかりではないようです。自分の関わった卒業生のみではなく、地元町内のあちこちで、名古屋のみならず、本当にあちこちに「栢山」を実感することが重なりました。どなたも、私よりもずっとお年を召された方々も、実に和やかに、楽しそうに、誇り高く「人間になろう」を体現していらつしやいます。圧倒されました。「伝統」とはこういうものかと初めてわかりました。

今回の「希望（のぞみ）」の発刊により、そうした「人間になろう」の絆がより一層固く広く結ばれていくことを願ってやみません。



中学校教頭 仲本 貴子

## 希望

日ごろは、中学校高等学校の教育へのご理解とご支援を賜り、誠に感謝申し上げます。同窓会は、大学同窓会・中高同窓会と次々に設立され、ここ数年の活動の活発化は、栢山女学園の発展を象徴するものではないかと思っております。

また、教育の現場へは奨学金をはじめ、文化祭の表彰トロフィーや体育祭の飲み物など、生徒たちへの物心両面にわたる支援をいただき、同窓会を身近に感じることが多くなりました。役員の方々は、文化祭や体育祭は必ず見に来てくださり、学校の空気をじかに感じとっていただくなど、生徒たちへのきめ細かな配慮に感謝にたえません。

この度創刊の「希望（のぞみ）」の命名は、校歌の「希望をいれてあまりあり」からかと思っております。生徒たちが将来への夢を持って努力し、夢を手にかけることができるよう、常に前に向かって生きていくというメッセージが伝わってまいります。卒業後も一生、栢山生であつたことの誇りを持ち続ける要である同窓会です。ご発展を祈念いたしております。



「創設から現代まで」を5月に刊行します。創設者が実際に発信してきたことばを通して、椋山の教育を振り返ることが出来ます。その内容については「椋山歴史文化館」ホームページ(22年4月開設)に新たに設けた「資料室」でも読んでいただけるよう準備が進んでいます。この1年間で数件にわたる寄付・寄贈も頂戴しました。皆さんに支えられて「椋山歴史文化館」は今年オープン3年目を迎えています。



### 「人材バンク」登録者募集のお願い

#### 登録方法

学園ホームページの大学案内→大学改革への取り組み→「人材バンク」への登録についてを参照の上、下記の登録項目について入力、又はメール、郵便のいずれかの方法。

#### 登録項目

住所、氏名、生年月日、連絡先、メールアドレス、勤務先名、勤務先の職種、勤務年数、卒業学校名・年度、得意分野、取得資格など。

#### 登録先・問合せ先

○キャリアサポート課  
Tel.052-781-7580  
Mail syugyo@sugiyama-u.ac.jp  
URL <http://www.sugiyama-u.ac.jp/>

**就業力育成に  
貴女の経験が活かせる!**

昨今の厳しい雇用情勢の中で、大学卒業者の雇用のミスマッチや早期退職等の問題が取り沙汰されています。このため、大学ではキャリア教育を今以上に強化し、在学生に就業力をつけることで、一層の職業的・社会的自立を図ることにしました。そのための取り組みのひとつに就業力「人材バンク」があります。これは、企業・団体等で社会人として活躍されている(いた)OGの方や賛同いただける企業の方に「人材バンク」に登録していただき、教育課程内外の様々な機会にゲストスピーカーとして招聘して、貴重なご経験を在学生に聴かせていただくものです。これにより卒業生も含めた「オール椋山」での就業力育成に対応したいと考えております。つきましては、この趣旨に賛同いただけますOGの方には、次の項目について、主として学園のホームページからご登録いただけますようお願いいたします。なお、お預かりした情報は、この目的以外には利用いたしません。また、外部にも公開はいたしません。

### 椋山オープンカレッジについて



着てみよう!着せてみよう!十二単Ⅲ  
~十二単で歴史散歩~

椋山オープンカレッジは、「新時代に社会貢献できる学園の新しい可能性を見出して

いくこと」をコンセプトに、平成14年4月にスタートしました。主に大学のエクステンション事業として、既成の枠組みにとらわれることなく、学園の有する人材および施設、設備などの資源を活用して、広く一般に生涯学習の機会を提供しており、星が丘キャンパスを中心に各種講座を開設しています。椋山オープンカレッジは会員制ですが、年齢、性別、学歴を特に制限することなく入会できることを基本としており、特に卒業生の皆さまは入会金減額の特典が受けられるメリットがあります。提供するプログラムには、「カレッジ独自講座」および「キャリアアップ講座」のカテゴ

リーを設けており、知識や教養の涵養、新たな探究心の向上から資格取得やスキルアップまで幅広く、お手伝いをさせていただいておりますので、ご興味のある方は下記までお問い合わせください。また、平成23年度からは新たな試みとして、椋山女学園同窓会と椋山オープンカレッジとの共催講座もスタートいたしますので、ご期待ください。

#### エクステンションセンター

○お申込み・お問合せ  
Tel.052-781-1239 ※土日祝祭日除く  
○ホームページ  
<http://www.sugiyama-u.ac.jp/soc/>

### 「椋山歴史文化館」この一年

館長 椋山 美恵子

22年度もいろいろな方々が来館されました。「椋山に長く通ったのに椋山のことを全然知らなかった」と言いながら展示品一つ一つを丁寧にご覧になった卒業生の方々、大学の授業の一環や自分の研究テーマで来館した学生さん、学校見学や体験学習の中高校生、家政学や図書館関係の研究会の先生方、他の博物館や資料編さん室の専門家の方々、マスコミ関係の方々など、「椋山歴史文化館」は少しずつ広く利用されるようになってきています。

文化展示室においては、昨年5月からの「同窓会作品展」に続いて11月から「教職員作品展」、そしてこの3月からは「生活環境デザイン学科作品展」を開催しています。研究分野の活動も始まっています。「雛形研究会」が500点ほどある雛形の整理・研究を、さらにこの4月からは「デジタルアーカイブ研究会」が椋山歴史文化館の資料のデジタル化を進めています。

また、「椋山女学園の教育をたどる創立・ことば集」創設から現代まで」を5月に刊行します。創設者が実際に発信してきたことばを通して、椋山の教育を振り返ることが出来ます。その内容については「椋山歴史文化館」ホームページ(22年4月開設)に新たに設けた「資料室」でも読んでいただけるよう準備が進んでいます。この1年間で数件にわたる寄付・寄贈も頂戴しました。皆さんに支えられて「椋山歴史文化館」は今年オープン3年目を迎えています。

### 大学および大学院の近況について

学長 野淵 龍雄

椋山女学園同窓会の皆様には、日頃より、本学の教育研究事業に多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。またこの度は同窓会会報「希望」創刊号が発行されましたことは誠に存じます。と存じます。

さて、本誌面をおかりして大学・大学院の近況の一端を記させていただきます。①平成23年4月に文化情報学部メディア情報学科を増設したことにより、本学は7学部11学科体制となり、女子総合大学としての整備が一層進みました。②大学・大学院とも、入学者受入れ、教育課程編成・実施、学位授与の3つの方針(ポリシー)を策定いたしました。また、これを機に教育課程を大幅に改訂した結果、学部・学科の教養教育科目と専門教育科目の更なる魅力化を図ることができました。これらの教育情報は本年4月以降、インターネットを通して公表することいたしました。③入試選抜制度についても、一



般入試で従来の2教科型の他3教科型を加えるなどの変更を図ったことにより、志願者を増やすことができました。また近い将来、18歳人口が一段と減少することを踏まえ、外国人留学生と社会人を積極的に受け入れる方略を立てているところです。④「超氷河期」などといわれ、就職事情が一層厳しくなるなか、本学も苦戦を強いられています。が、幸い平成22年度に文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択されましたので、目下、大学が一丸となって支援体制の強化に努めているところです。上記のいずれの場合にも、学園同窓会の皆様の一層のご理解とご支援をお願いできれば幸甚と存じます。

### 社会人入学のおすすめ

椋山女学園大学では、生涯教育をすすめる観点から、社会人を対象に学部1年次社会人入学特別選抜入試を実施しています。実施学部・学科は生活科学部(生活環境デザイン学科)、人間関係学部(人間関係学・心理学)、文化情報学部(文化情報学・メディア情報学)、教育学部(子ども発達学)、看護学部(看護学)の計5学部7学科となります。入学時に満23歳に達し、社会人経験が5年以上の方を対象としています。学生時代と違った分野に興味を持たれ、新たな学びを求め、社会人経験を通して得られた知識の学問的裏付けや問題解決のために知識を求め、資格取得などを目標として新たなステップを目指す方など様々な目的で受験生の方は



再び学生生活にチャレンジしています。入試は例年10月ごろに実施されます。このほか、生活科学部(生活環境デザイン学)、国際コミュニケーション学部、人間関係学部では3年次編入学を対象とした社会人特別選抜の実施や社会人に対する出願資格の特例など、社会人の方が再び学びの場に戻ることを応援する制度を用意しています。編入学の入試は例年10月ごろに入試を実施しています。ご興味のある方はぜひ入学センター(0120-244-887)までご連絡・ご相談ください。





# していないこと

国際コミュニケーション学部 准教授 **堀田 あけみ**

心穏やかに生きたいと、日々思う。日々思っているくらいなので、私の現状は怒りとの戦いだ。不安も心配も、すべて「誰か」に対する怒りとなって心を乱す。口から出てしまうことは少ないが、「少ないかあ？」と、ここで突込みを入れたくなる人が、絶対いるだろう。ああ、少ないとも。怒りのうちの九割は、誰にも伝えられること無く、腹の中へ落とし込まれる。何故、腹が立つのか。世の中が、自分の思い通りに行かないからである。そして、それを誰かのせいにしたくなるのは人間の本能だ。「もーお、計算カード、失くしちゃったじゃない。おかあさんのせいだよっ」

七年と少ししか生きていない末娘も、こんなことを言う。学校で失くしたものを、どうやって母親のせいにするつもりかは知らないが、彼女が体得していることは二つ。誰かのせいにしてしまえ、と、その誰かは家族にしておけ、ということ。その方が面倒が無い。

このままでは良くない。誰の為に私を一番良くない。我が家を怒号と疑念の坩堝にしない為に、子どもを誉めることにした。と言っても誉めることが見つからない。わけが無い。叱るときは、していないことを叱るではないか。「宿題をしていない」「行儀良くしていない」というように。誉めるときも、「していない」を見つけたら良い。「忘れ物をしていない」「喧嘩をしていない」「そんなことあたりまえ、と言わず。だって、私が毎日、こんなに頑張ってる。家事に育児に仕事にフル回転しているのに」「そんなの親としてあたりまえ」と言われたら、何をやる気も失せる。

**ほったあけみ**  
昭和39(1964)年  
愛知県あま市(旧：海部郡七宝町)生まれ  
平成21(2009)年  
国際コミュニケーション学部 准教授 着任  
映画化・コミック化された「1980アイコ十六歳」は代表作であり文藝賞を受賞。  
代表作品  
「インセントガール」(1988年)  
「発達障害だって大丈夫自閉症の子を育てる幸せ」(2007年) 子育て・教育をテーマに講演活動も行っている

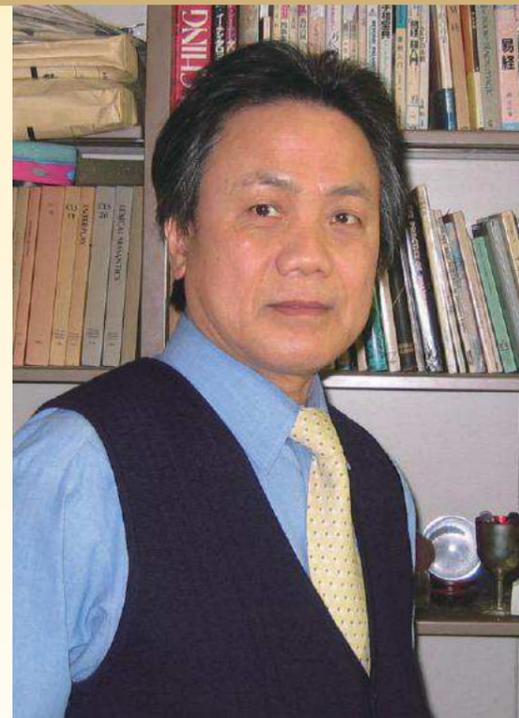
## 皆さんの疑問・質問どしどしお送りください

### 世の中よく考えてみると疑問だらけ、本当はどうなの？！

日々の生活の中で、そんな経験はありませんか。  
椋山学園には、各専門分野の先生方がいらっしゃいます。その先生方にお答えいただきます。例えば、普段ありそうなこととして、今、多くのサプリメントが販売されていますが、その使用は大丈夫なの？ 子育てでは、育児本どおりでいいの？ などなど、その他、法律、住まい、家計、食べ物、ことば、高齢者問題など具体的に、疑問を右記あて先まで、どしどしお寄せ下さい。

### あて先

〒464-8662  
名古屋市千種区星が丘元町17-3  
椋山学園同窓会事務局  
「暮らしのお役立ち情報」あて  
お申込みは、氏名・学校・卒年・連絡先をご記入ください。



# カタカナと英米崇拜が日本語を汚す？

人間関係学部 教授 **加藤 主税**

本当におおまかですが、「美しい日本語」とは、和語が多ければ、多いほど「美しい日本語」に近づくと、反対に外来(カタカナ)語が多いとそれに遠ざかると言えます。ところが、戦後60年程の間で外来語が増え続けています。

外国から新しい物(行動、思想、様式、習慣、現象など)が入ってくる時、その物には名前がついています。それには次の3種の方式があります。なお以下

「物」と言う場合、行動、思想などを含んでいることにします。  
① 物導入語拒否  
物が外国から入ってくると、従来は翻訳していました。物だ

けは導入するが、コトバは拒否していたのです。当然新しい翻訳語を作らなければなりません。

これは、「計算機」「録音」「卓球」「地下鉄」「自転車」「車道」「線路」のようなコトバで、日本語に翻訳して、断固、外来語を拒否しました。昔の日本はこれが基本でした。写真用語は「写真」「現像」「焼き増し」「絞り」「露出」など原則的には翻訳しました。が、「フィルム」「レンズ」などは原語です。これを「訳漏れ現象」と呼び、これが外来語氾濫を引き起こしているのです。

② 語物導入  
物と物についているコトバ(外来語)も一緒に導入する場合があります。これには2種の場合があります。

(a) 語物導入翻訳不可能  
新しい物についているコトバなら、日本語に訳すことが容易ではありません。「ケチャップ」は日本語に翻訳しづらいです。

(b) 語物導入翻訳可能  
外国から新しい物など取り入れる場合、翻訳しないで、原語つきのまま取り入れる場合があります。翻訳不可能というわけでは

はありません。翻訳努力の放棄とすることができるようでしょう。「アジエンダ」「ソリューション」「イノベーション」「コラボ」など十分翻訳可能で、訳語の方が理解しやすいですね。

③ 語導入物拒否  
新しい物は何も入って来ません。すでに日本に存在している物で、当然立派なコトバもあるのに、コトバだけが入ってくる場合があります。言語学的には不要な語です。同じ意味を持つ、立派な日本語があるのに、わざわざ外国語を導入して、日本語を死語にしているのです。「鍵」「砂糖」「帳面」「白墨」「指輪」「首飾り」のような語です。ちなみに「写真機」「落下傘」はわざわざ翻訳した語なのに、「カメラ」「パラシュート」のために死んでしまいました。外来語が増加しているのは、「語物導入翻訳可能」の場合と「語導入物拒否」の場合です。

不要な外来語導入の理由の1番目は、カタカナです。世界の言語は、ふつう表音文字系と表意文字系に分類されますが、日本語は両方の文字を持つている珍しい言語です。しかも、表音文字を2種(ひらがな、カタ

カナ)持っています。戦後不要になるはずだった、カタカナが外来語専用文字に成り下がってしまいました。2番目の理由は英米崇拜です。英米人や英語に対して、日本にはなげかわしい事例が多く見られます。3番目は、新しい物は古い物より優秀だという、ハイテク時代、4番目は柔軟な日本語文法構造です。

### かとうちから

昭和22(1947)年、愛知県瀬戸市生まれ、在住  
昭和62(1987)年、人間関係学部開設とともに椋山学園大学教授に着任  
中日新聞「ちから教授のコトバ学」の連載をはじめテレビ、ラジオの出演、占い評論家、コトバ評論家としても各地で講演  
平成17(2005)年まで「愛知の教育を考える懇談会」委員  
『女子大生が解説 ケータイネットで新人間関係』(私家版)で自身の造語「ケーチュー(携帯電話中毒)」が新語として定着  
今年から来年にかけて5冊の著書を発刊予定。著作は60冊を超える  
最近ホンマでっかTV(フジテレビ)に出演して話題に

OG会の活動

アヴェス・ユヴェネス  
ベルコーロの演奏会について

内藤 幸子

Aves Juvenes

1986年3月合唱団の卒団生有志により結成し、ルネサンスの宗教音楽をメインに歌い続けています。

アヴェス ユヴェネス創団25周年記念コンサート「マリア讃歌と受難の聖曲」  
○2011年5月14日(土)  
○カトリック五反城教会  
○15時30分開演予定



Bel Colo

合唱団OGの有志で2000年に発足しました。第5回コンサートでは宗教曲、世俗曲、コダーイの曲、三河の民謡、菅野浩和作品の中から日本語のポリフォニー作品を歌う予定です。

第5回コンサート  
○2011年11月20日(日)  
○熱田文化小劇場  
○14時開演予定



ゴルフ愛好会の活動

皆さんもゴルフを通して  
親睦を深めませんか

磯村 美代子

「希望」創刊おめでとうございます。「ゴルフ愛好会」は2年前に発足したばかりで、まだまだ手探り状態の活動をしています。ゴルフを通じて同窓会会員の皆様と親睦を深めるという主旨で始まりました。今年は4月に4回目のコンペを開催し、幅広い年齢層の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。次回は知多CCを予定しています。詳細はHPにてご案内致します。皆様のご参加をお待ちしております。



有志の会の活動

名古屋能楽堂に  
出演しました

佐々 雅代

2008年河文での懇親会で、端唄を披露して下さった華房小真(田中美紀)さんとのご縁で、コスモス会の講座として端唄・小唄をお稽古する機会を得ました。名古屋市民芸術祭2010に、端唄・華房小真の会が名古屋能楽堂で開催されるにあたりお誘い頂き、夢のような舞台に立つことが出来ました。40代~80代幅広い同窓の姉妹たちで、一つのハーモニーを生み出すことの素晴らしさに感激、感謝のひとつでした。



歴史文化館同窓生作品展と  
看護学部見学会

栢山歴史文化館企画展「同窓生作品展」が平成22年5月8日より10月16日まで歴史文化館で開催されました。40名近くの方々の作品が展示され、開催中は在校生を含め多数の方々が来館くださいました。力作ばかりに感心し、卒業後の皆様方が色々な分野で活躍されている事を改めて確認しました。

又、7月10日(土)には歴史文化館「同窓生作品展」と看護学部の見学会を開催しました。37名の参加者があり、設備の整った看護学部を見学しました。看護師、保育士の国家試験を受ける資格が得られ、10名は養護教諭の資格が得られるとの説明がありました。

看護学部見学会



同窓生作品展見学会



ク ラ ス 会 通 信

家政学部被服学科  
昭和60年度生クラス会

荒木 千津(遠藤)

2011年1月4日、新年早々、マリOTTアソシアホテル51階にて久しぶりのクラス会を持ちました。中山晃、中保淑子、富田明美先生のご出席を頂き、総勢38名。卒業後始めてのお顔合わせの人もいて感激でした。大学の素晴らしい発展のお話や新しい同窓会のお話、お互いの近況報告など、大変盛り上がりつつ楽しいひとときを過ごすことが出来ました。これからも度々こうした機会をもうけたいと思います。



旧2年11組  
クラス会

林 富子(S52高)  
安宅 陽子(S55短)

卒業後第6回目のクラス会を開催致しました。偶然にも学園創立105周年の年でもあり祝賀会の場をお借りして行いました。当日は担任でありました山田正俊先生にも出席して頂き11名が集まりました。常任理事の伊東初美さんのご配慮により、全員が同じテーブルに着け楽しく過ごすことが出来ました。二次会は山田先生のお心遣いで茶話会となり、あつという間の一日でした。次回は泊り会という声もあり、今から楽しみです。



創立105周年記念  
祝賀会に同時参加

金子 允子(S32高)

私たち32年卒のクラス会は二年に一度行っている25回目です。105周年祝賀と一緒に行っていたので、東京・横浜・千葉・静岡など遠くからも来ていただけ、なつかしく楽しい想いで一杯でした。中学・高校・大学の同窓生が一同に会し、スケールが大きくなりびつくりしました。もうすでに社会で活躍されている方も多くとお聞きし、女性もそういう時代になってきたのだと、たのしく思いました。中国語の歌、楽しかったです。



高校平成3年卒  
クラス会

菅野 真代(H7文)

2011年5月、同窓会に参加いたしました。日頃よく顔を合わせる友人もおりますが久しぶりに会った友人も多数、覚えていてくれるかな?一抹の不安も。しかし、瞬時にその時空を飛び越え...三児の母となったアラフォーの私ですが、栢山のプレザーを着て、ブラックウオッチチェックのバッグを持って通学していたあの頃の気持ちに戻って楽しみました。さまざまな境遇に身をおく私たちが、巣立った場所はひとつという一体感があり、懐かし話に花が咲きました。



栢山女学園創立  
105周年記念  
コンサート

平成22年11月27日、三井住友しらかわホールにて、栢山女学園創立105周年記念コンサートが開催され、同窓会も後援いたしました。栢山女学園オーケストラとピアノソリスト宮田俊雄先生(教育学部教授)とのドイツ音楽を中心としたプログラムは、息の合った迫力ある演奏で、会場一杯に響きわたりました。ここまで仕上げられた、指揮者・団員の皆様の努力は練習の賜物と感動いたしました。栢山女学園同窓生の素晴らしさが発揮された一日でした。これからも同窓会を応援してくださいね。



交換学生との交流

平成22年度栢山女学園大学交換学生として、中国・オーストラリアから4名の交換学生が4月24日(土)に入学され、10ヶ月間勉学に励まれました。大学同窓会主催、着付け・茶道盆点講習会にも参加され、平成23年1月29日に修了式が行われました。その思い出を流調な日本語で話されました。栢山での体験をどこかで発揮される事を願います。皆様お元気で...



新成人を祝う会

平成23年1月10日成人の日に栢山女学園高等学校・中学校ランチルームで高等学校・中学校卒業生による成人を祝う会が午後から開催されました。恩師14名をお迎えして168名の参加で開催されました。高中同窓会より記念品の名刺入れが贈られました。久しぶりの出会いでにぎやかに楽しいひとときが過ぎました。



# 平成23年度 椋山女学園同窓会事業計画

## 行 事

### 平成23年

5月 21日(土) 着付け講習会

6月 7日(火) 初夏の小旅行(唐招提寺)  
10日(金) 古布を使った葡萄のブローチ  
25日(土) 学習会①

7月 2日(土) 高中同窓会設立5周年記念懇親会  
4日(月) アロマテラピー教室①  
30日(土) 椋山SC研究会①

8月 5日(金) 親子で作ろう!ビーズアクセサリ-  
6日(土) フラワーアレンジメント教室①  
22日(月) アロマテラピー教室②

9月 16日(金) 高校文化祭(9/16・17)後援  
19日(月) 高校スポーツデー後援  
24日(土) 学習会②  
27日(火) 同窓会オープンカレッジ  
ビーズアクセサリ-講習会①

10月 1日(土) 味めぐり  
中学文化祭(10/1・2)後援  
13日(木) 中学体育祭後援  
15日(土) 椋山ホームカミングデー・大学同窓会ミニコンサート  
28日(金) 同窓会オープンカレッジ  
ビーズアクセサリ-講習会②  
未定 御園座「吉例顔見世」

11月 7日(月) アロマテラピー教室③  
11日(金) 同窓会オープンカレッジ  
楽しむシュガークラフト①  
19日(土) 茶道盆点講習会  
26日(土) 学園同窓会講演会(講師:鎌田寛氏)  
未定 中日劇場 大奥第一章「大奥」

12月 1日(木) みんなで行こう!新・科学館  
3日(土) フラワーアレンジメント教室②  
9日(金) 同窓会オープンカレッジ  
楽しむシュガークラフト②

秋には小学校同窓会参加お祝いの会を開催する予定。

### 平成24年

2月 3日(金) 香に親しむ  
27日(月) アロマテラピー教室④

3月 3日(土) 椋山SC研究会②  
10日(土) フラワーアレンジメント教室③

## 会 議 ・ 委 員 会

### 〈学園同窓会〉

総会:年1回 理事会:年6回 評議員会:年3回 常任理事会:毎週水曜日 会報委員会:随時 HP委員会:随時  
事業活動委員会:随時 その他各委員会:随時

### 〈大学同窓会〉

総会(連絡委員会):年1回 運営委員会:年7回 会報委員会:年4回 HP委員会:年5回 行事担当会議:年4回  
大学祭担当会議:年5回 生活科学部会議:年3回 短期大学部会議:年3回 文学部会議:年3回 人間関係学部会議:年3回

### 〈高等学校・中学校同窓会〉

総会:年1回 評議員会:年6回

### 〈支部会〉

各支部総会:年1回 各支部委員会:随時

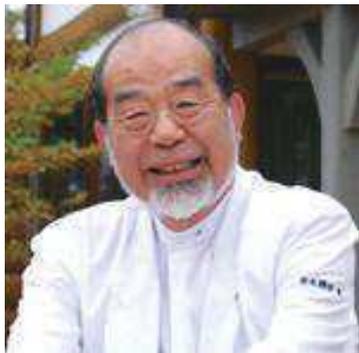
## 新 入 生 入 学 説 明 会 出 席

小学校・中学校・高等学校

## 式 典 列 席

各学校 入学式・卒業式・卒業証書授与式 交換学生 歓迎式・修了式

## 講演会



講師: **鎌田 實**

演題: **「がんばらない」けど「あきらめない」**  
—命を支えるということ—

日時: 平成23年11月26日(土) 13:00~14:30

場所: 椋山女学園大学文化情報学部メディア棟001教室 参加費: 無料

〈申込締切日〉10月末日 FAX、ハガキでお申し込みください。

FAX: 052-781-7197

住所: 〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3 椋山女学園同窓会 あて

### ■講師プロフィール

諏訪中央病院名誉院長

1994年 チェルノブイリの救援活動で信濃毎日新聞賞受賞(JCF)

2011年 日本放送協会放送文化賞受賞

●著書/「がんばらない」「あきらめない」「それでもやっぱりがんばらない」

## 椋山オープンカレッジ 連携同窓会講座

本年度の同窓会の新規事業として2種類のオープンカレッジを開催します。  
講師は同窓生の中から選出し、より身近に楽しんでいただけるような講座を用意して、  
同窓生の親睦をはかります。

※参加ご希望の方は同窓会館までご連絡ください。

### 「ビーズアクセサリー講習会〈全2回〉」 講師: 藤井 琴美

平成23年 ①9月27日(火) ②10月28日(金)

●時間: 10:30~12:30 ●場所: 同窓会館 ●材料費: 7,000円 ●定員: 10名

スワロフスキーやイタリアのビーズを使って、リングやネックレスを作ります。

テグスにビーズを通す簡単なものから編み込み技法など、いろいろな技を取り入れます。



### 「楽しむシュガークラフト〈全2回〉」 講師: 野田 雅子

平成23年 ①11月11日(金) ②12月9日(金)

●時間: 10:30~12:30 ●場所: 同窓会館 ●材料費: 8,000円 ●定員: 10名

かつて砂糖が貴重だった時代に権力と富の象徴として欧州で誕生したシュガークラフト。

講師が英国の教室と連携し、技法を直伝します。昨年度行われた講習は、英国でも紹介されました。



## 観劇

御園座(2011年10月)

「吉例顔見世」

中日劇場(2011年11月)

大奥第一章「大奥」

劇団四季

演目検討中

以上、わかり次第ホームページに紹介しますので、詳細につきましては同窓会館までお尋ねください。

## バス旅行

平成23年度 「初夏の小旅行」

- 行先: 奈良 唐招提寺(特別拝観)
- 日時: 平成23年6月7日(火) AM8:30出発(テレビ塔) PM6:45解散予定
- 参加費: 10,000円(22年度年会費納入者9,000円)
- 定員: 90名
- 申込み方法: 同窓会事務局までお問い合わせください。  
\*ただし定員になり次第締め切りといたします。

### 【平成24年度 初夏の小旅行予定】

- 行先: SL金谷、大井川鉄道 ●日時: 平成24年6月6日(水)
- 参加費: 11,000円(23年度年会費納入者 10,000円)



## 新会長就任挨拶

同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。  
 日頃は同窓会にご協力賜り厚く御礼申し上げます。  
 高等学校・中学校同窓会は平成19年に設立され今年で5周年を迎えることになりました。  
 皆様方のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 〈役員紹介〉

- 会長／中村 恵子   ■副会長／森 基子 木下 文子   ■書記／大藪 三世子 尾崎 淑恵
- 会計／山崎 賀津子 藤井 琴美   ■会計監査／滝 紀美代 前田 幸子

高中同窓会会長  
中村 恵子



## 「高等学校・中学校同窓会設立5周年記念懇親会」のご案内

この度、高等学校・中学校同窓会設立5周年記念懇親会を下記日程で開催いたします。  
 余興（琵琶演奏）もありますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成23年7月2日（土） 11:00～14:00  
 場 所：名古屋ローズコートホテル （052-269-1815）  
 名古屋市中区大須4丁目9-60（地下鉄上前津①出口横）  
 会 費：3,500円  
 締切り：平成23年6月10日（金）

琵琶奏者  
と ぜん しょう  
塗 善 祥  
(1970年～プロ活動)



東京芸術大学大学院音楽学修士課程修了  
シンセサイザー奏者の喜多郎氏と共演等

※ご参加いただける方は右記事務局までお電話・FAX・メールのいずれかでご連絡ください。  
 ※お子様の同伴も歓迎いたします。詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。  
 ※キャンセルにつきましては6月24日（金）までとさせていただきます。以降は**お料理の実費が発生いたしますので、会費をご請求させていただきます。**ご了承いただけますようお願いいたします。

椋山女学園高等学校・中学校同窓会事務局  
 TEL 052-781-5952 FAX 052-781-7197  
 kouchu@og.sugiyama-u.ac.jp

## 〈平成23年度 高中同窓会行事予定〉

平成23年6月10日（金） 10:00～14:00

### 「古布を使った葡萄のブローチ」

講師：今泉 恭子先生（高校S28年卒）

- 締切り：6/6
- 定員：20名
- 参加費：1,000円（お弁当込）
- 場所：同窓会館
- 持ち物：裁縫用具
- ※公共交通機関でお越しください。



平成23年8月5日（金） 10:00～14:00頃

### 「親子で作ろう！ ビーズアクセサリー」

講師：藤井 琴美先生（高校S61年卒）

- 締切り：7/15
- 定員：20名
- 参加費：未定
- 場所：同窓会館
- 持ち物：無地のハンカチ、はさみ、あれば先の細いペンチ



平成23年12月1日（木）（見学時間は検討中）

### 「みんなで行こう！ 新・科学館」

- 締切り：11/20
- 定員：30名
- 参加費：800円（一部補助あり）
- 場所：名古屋市科学館（伏見⑤出口徒歩5分）



平成24年2月3日（金） 10:00～12:00頃

### 「香に親しむ」

講師：横井 悦子先生（高校S37年卒）

- 締切り：1/20
- 定員：20名
- 参加費：2,000円
- 場所：同窓会館
- 持ち物：筆記用具
- ※公共交通機関でお越しください。



平成23年10月15日(土)

梶山ホームカミングデー

〈大学 星が丘キャンパス〉

卒業生による講演会〈10:00~11:15〉 キャンパス内では

- 講演時間／①10:15~10:45
- ②10:45~11:15

第50回梶大祭  
開催中!!

- 場所／文化情報学部メディア棟001教室
- 講師／生活科学部および国際コミュニケーション学部  
卒業生を予定

ティーパーティー

- 時間／11:35~13:00 ※15:00まで談笑可
- 場所／大会館1F食堂

大学同窓会ミニコンサート

〈大学 星が丘キャンパス〉

- 時間／12:30~13:40(12:00開場)
- 演奏／梶山女学園大学シンフォニーオーケストラ部(予定)

~お茶を飲みながら気軽に演奏をお楽しみください~

〈昨年のように〉



「私と食」  
菊池啓子さん  
(生活科学研究科修了)



「母校のオープンカレッジに  
携わっての7年」  
表情筋トレーニング講座から  
伊熊二二美さん  
(短期大学部卒業)

菊池さんは、ベトナムでご自身が撮影された地元市場などの写真を交えて、食文化についてのお話しを、また、伊熊さんは、表情筋を動かす実演を参加者とともにに行い、いつでも明るく若々しさ保つためのお話しをしていただきました。



ティーパーティー風景

なつかしい友人や先生方を囲んでおしゃべりの輪が広がりました。



ミニコンサート風景

どの年代の方たちにも馴染みのある楽曲の演奏とともに楽しいひとときを過ごしました。

〈平成23年度 大学同窓会行事予定〉

「着付け講習会」 5月21日(土) 「着物の着付けを楽しく覚えましょう」 講師：花柳流師範 若林 葵(短期大学部卒)

- 時間：13:30~15:30 ● 場所：同窓会館 ● 参加費：無料 ● 定員：15名

※参加受付はホームページにて終了させていただきました。

「学習会」

- ①6月25日(土)「非常勤講師にチャレンジ」 講師：石原 陽子(生活科学部卒)
- ②9月24日(土)「パソコンを活用して」 講師：三浦 政徳(大日本印刷)

- 時間：13:00~15:00 ● 場所：同窓会館 ● 参加費：無料 ● 定員：各20名

「アロマセラピー教室」

- ①7月 4日(月)「日焼け止めクリームなど」
- ③11月 7日(月)「リップクリームorハンドクリーム」
- ②8月22日(月)「親子教室 入浴剤作り」
- ④ 2月27日(月)「肩こり解消クリームスティック作り」

講師：アロマセラピスト 香川 奈津子(人間関係学部卒)

- 時間：10:30~12:00 ● 場所：同窓会館 ● 参加費：2,000円 ● 定員：各15名



「梶山SC研究会」 ①7月30日(土)「新しくスクールカウンセラーを始める方へ」 講師：臨床心理士 浦野 寛子

②3月 3日(土)「軽度発達障害について」

講師：臨床心理士 北川 睦

- 時間：14:00~16:00 ● 場所：同窓会館 ● 参加費：無料 ● 定員：各30名



「フラワーアレンジメント教室」

- ① 8月6日(土)「ブリザーブドを使って」
- ③3月10日(土)「春のアレンジ」
- ②12月3日(土)「クリスマスアレンジ」

講師：(社)日本フラワデザイナー協会 杉江 今日子(人間関係学部卒)

- 時間：13:30~15:30 ● 場所：①同窓会館、②③日進キャンパス ● 参加費：2,500~3,000円 ● 定員：各15名



「味めぐり」 10月1日(土)

- 時間：11:00~ ● 場所：徳川美術館 宝善亭 ● 参加費：未定 ● 定員：50名



「茶道盆点講習会」 11月19日(土)「おもてなしの心」 講師：表千家教授 杉岡 真弓(短期大学部卒)

- 時間：13:30~15:30 ● 場所：同窓会館 ● 参加費：500円 ● 定員：30名



詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

## 愛知支部(コスモス会)

支部長 佐々 雅代(S41 家)

7月2日第12回総会・懇親会を人間交流会館で開催。ドラマチックピアニストはちまん正人氏の演奏を楽しんだ。食事は同窓生経営「関山」に依頼。11月4日甲府ワイン工場と恵林寺へバス小旅行。富士山に見守られワイナリーで美味しいワインとバーベキューを堪能。信玄公菩提寺・恵林寺の秋も見事。

- ◎平成23年度愛知支部総会  
日時：7月13日(水)11時30分～  
会場：名古屋観光ホテル  
会費：8,000円  
奏者：篠崎陽子・マリンバ演奏
- ◎小旅行  
日時：10月21日(金)  
会場：神戸市内(南京町・六甲牧場)
- ◎端唄・小唄講座  
日時：9月9日(金)10月14日(金)  
11月24日(木)12月15日(木)



## 三重支部(花菖蒲会)

支部長 徳田 美和子(S47 短)

昨年は椋山女学園創立105周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。三重支部からも沢山の皆さまが出席されました。H22活動は5月8日に料亭平次にて総会を開催。総会後は琴演奏会で、琴を見事に鳴らしきった華麗な一級の演奏にふれ、嬉しい時間を過ごす事ができました。講習会は10月29日にアロママッサージと指ヨガ教室で色々な香りに癒され、互いに指から肘までのマッサージに、会員の親睦が深まる一日でした。

- ◎平成23年度三重支部総会  
日時：6月11日(土)11時～  
会場：ラ・メール
- ◎講習会(寄せ植え)  
日時：11月(未定)  
電車の方にも、持ち運びしやすいように工夫しています。  
※ご参加をお待ちしています!



## 岐阜支部(れんげ会)

支部長 杉岡 真弓(S47 短)

H22 ① 研修会 初夏を思わせる6月上旬、新緑の美しい多治見虎渓山で32名が参加して、日帰り研修を実施。日本情緒溢れる料亭で料理をいただき、その後「セラミックパーク」(東濃地方の陶芸家の作品を展示)を見学して交流を深めました。

② 総会 10月30日 本部からの出席も賜り、30名で第14回岐阜支部総会を行い、岐阜城と長良川を眺めながら、ホテル名物の薬膳料理をいただき、楽しいひと時を過ごしました。

- ◎平成23年度岐阜支部総会  
日時：11月17日(木)
- ◎研修会  
日時：5月12日(木)  
会場：岐阜市内「後楽荘」



## 関東支部(なでしこ会)

支部長 杉山 康世(S41 家)

関東支部総会は5月30日(日)新宿区歌舞伎町、日本料理「車屋」にて、恩師・加藤元子先生、椋山美恵子先生をお迎えして57名が出席しました。今回は趣味の作品展の案内状を持参した方々、映画の招待状ありと情報の交換の場となりました。またトールペイント作品のプレゼントもあり楽しいひとときを過ごしました。

- ◎平成23年度関東支部総会  
日時：6月3日(金)  
会場：第一ホテル両国



## 関西支部(すみれ会)

支部長 三好 良枝(S33 高)

平成22年11月28日 総会をリーガロイヤルホテルにて、新メンバー4名の参加をもって開催しました。会場では、中川佐和子前支部長が、学園同窓会の永年功労者の表彰を受けられた報告に続き、学生時代に生活を共にされたベルリンオリンピック女子水泳200m金メダリスト前畑(兵藤)秀子先輩のエピソード等、親近感をもって楽しく聞きました。9月には、左手のピアニスト館野泉さんのコンサート(大津びわ湖ホール開催)を聞きに行きました。左手だけでも、両手で弾いているような迫力が、ホール中響きわたりました。

- ◎平成23年度関西支部総会  
日時：11月27日(日)  
会場：大阪リーガロイヤルホテル
- ◎その他にコンサート、京都が奈良の文化財見学会を予定しています。



## 東北支部(薔薇会)

支部長 山家 淑子(S38 高)

平成22年12月19日(日)仙台国際ホテル『貴仙』にて第6回総会・懇親会を開催しました。当日は青森県八戸より2名、福島県南相馬より1名、仙台市の3名と、同窓会長の加藤雪枝先生の出席を頂き、盛会に開催されました。

会員の皆様が自分なりに努力され、家庭・職場・子育てなど社会に貢献され、輝いている日常生活のお話を聞いて感動し、出席者全員、楽しく有意義な時間を持つことができました。

支部も発足より七年目を迎えました。次回も同窓生の輪が、さらに大きく広がって行くように、開催致したいと思います。

平成23年度の日時が決まり次第お知らせ致します。皆様の参加をお待ちします。



# 平成22年度 栢山女学園同窓会事業報告

## 平成22年

4  
月

- 3日(土) 大学入学式列席
- 5日(月) 小学校入学式列席
- 6日(火) 高等学校・中学校入学式列席
- 24日(土) 第1回大学同窓会協議会  
高中同窓会総会兼第1回評議員会  
学園同窓会総会  
平成22年度交換留学生歓迎会列席

5  
月

- 8日(土) 三重支部総会 料亭「平次」
- 8日~10月16日 栢山歴史文化館企画展「同窓生作品展」
- 10日(月) 第2回高中同窓会評議員会
- 15日(土) 大学同窓会拡大協議会  
御園座「五月花形歌舞伎」
- 21日(金) 第3回高中同窓会評議員会
- 22日(土) 第2回高中同窓会懇親会
- 23日(日) 御園座「五月花形歌舞伎」
- 29日(土) 第1回学園同窓会理事会
- 30日(日) 関東支部総会 日本料理「車屋」本店

6  
月

- 3日(木) 岐阜支部研修旅行 夢想庵
- 5日(土) 学習会①「非常勤講師になろう」(大学同窓会主催)
- 16日(水) 初夏の小旅行「飯田・昼神温泉」
- 19日(土) 着付け講習会(大学同窓会主催)
- 23日(水) 同窓会奨学金授与式

7  
月

- 1日(木) 劇団四季「オペラ座の怪人」
- 2日(金) 愛知支部 総会・ミニコンサート ピアノ はちまん正人氏
- 3日(土) 第2回学園同窓会理事会
- 5日(月) アロマテラピー教室①(大学同窓会主催)
- 10日(土) 歴史文化館・看護学部見学  
第4回高中同窓会評議員会
- 24日(土) 第1回学園同窓会評議員会  
栢山SC研究会①「面接の実際」(大学同窓会主催)
- 31日(土) 第3回大学同窓会協議会  
ミニ講演会「食物アレルギーについて」(大学同窓会主催)

8  
月

- 6日(金) 見学会「ランの館」(高中同窓会主催)
- 7日(土) フラワーアレンジメント教室①(大学同窓会主催)
- 23日(月) アロマテラピー教室②(大学同窓会主催)

9  
月

- 3日(金) 第5回高中同窓会評議員会
- 4日(土) 第3回学園同窓会理事会
- 7日(火) 高中同窓会パッチワーク講習会
- 11日(土) 第4回大学同窓会協議会  
学習会②「女性経営者が生き残るには」(大学同窓会主催)
- 17日(金) 高校文化祭後援
- 18日(土) 高校文化祭後援
- 22日(水) 高校スポーツデー・後夜祭表彰式
- 23日(木) 中学体育祭後援

10  
月

- 2日(土) 中学文化祭後援  
御園座「吉例顔見世」
- 3日(日) 中学文化祭後援
- 9日(土) 第2回学園同窓会評議員会  
第6回高中同窓会評議員会
- 10日(日) 御園座「吉例顔見世」
- 16日(土) 栢山ホームカミングデイ・大学同窓会「ミニコンサート」  
第5回大学同窓会協議会
- 22日(金) シュガークラフト講習会(高中同窓会主催)
- 23日(土) 学習会③「らくらく介護術」(大学同窓会主催)
- 29日(金) 三重支部 アロマオイル・ハンドマッサージ講習会
- 30日(土) 岐阜支部総会

11  
月

- 4日(木) 愛知支部 バス旅行 甲府ワイン工場と恵林寺
- 6日(土) 第6回大学同窓会協議会  
第4回学園同窓会理事会  
茶道盆点講習会(大学同窓会主催)
- 8日(月) アロマテラピー教室③(大学同窓会主催)
- 23日(火) 学園創立105周年記念同窓会総会・祝賀会
- 26日(金) ビーズアクセサリー講習会(高中同窓会主催)
- 28日(日) 関西支部総会

12  
月

- 4日(土) フラワーアレンジメント教室②(大学同窓会主催)
- 11日(土) 第7回高中同窓会評議員会

## 平成23年

1  
月

- 12日(水) 第8回高中同窓会評議員会
- 15日(土) 第5回学園同窓会理事会
- 29日(土) 学園同窓会役員会・新年懇親会  
平成22年度交換留学生修了式列席

2  
月

- 1日(火) 香に親しむ(高中同窓会主催)
- 5日(土) 味めぐり(大学同窓会主催)
- 12日(土) 第9回高中同窓会評議員会  
御園座「二月大歌舞伎」
- 13日(日) 御園座「二月大歌舞伎」
- 19日(土) 第7回大学同窓会協議会
- 28日(月) アロマテラピー教室④(大学同窓会主催)

3  
月

- 1日(火) 高等学校卒業式列席
- 4日(金) 第10回高中同窓会評議員会
- 12日(土) フラワーアレンジメント教室③(大学同窓会主催)  
栢山SC研究会①  
「スクールカウンセラーの役割」(大学同窓会主催)
- 15日(火) 大学卒業証書学位記授与式列席
- 16日(水) 小学校卒業式列席
- 17日(木) 中学校卒業式列席
- 19日(土) 第6回学園同窓会理事会
- 26日(土) 第8回大学同窓会協議会  
第3回学園同窓会評議員会

# 椋山女学園同窓会 平成22年度決算報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

△増 単位:円

収入の部						
項目	予算額	決算額	増減	備考		
入会金	33,260,000	33,280,000	△ 20,000	大1,135名 @20,000、大299名(楯高) @10,000 高校176名 中学203名 @20,000 H19年度高校入学者1名 @10,000		
年会費	5,600,000	6,420,000	△ 820,000	3,210名 @2,000		
維持管理費	20,000	20,500	△ 500			
寄付金収入	0	378,730	△ 378,730	匿名30万、富士の会、宇佐美ゆき様		
活動基金収入	0	0	0			
雑収入	3,000	18,811,078	△ 18,808,078	大学同窓会より繰越金入金、コピー代		
利息	18,000	19,396	△ 1,396			
前年度繰越金	6,718,612	6,718,612	0			
計	45,619,612	65,648,316	△ 20,028,704			
支出の部						
項目	予算額	決算額	増減	備考		
1.事業費	会報発行費	5,998,750	5,313,446	685,304	同窓会だより 50,200部印刷、発送費	
	大会費	5,500,000	2,931,104	2,568,896	学園創立105周年記念祝賀会	
	支部費	1,020,000	1,020,000	0	各6支部活動費	
	奨学金	1,000,000	1,000,000	0	大学3名(各20万)、高校4名、中学4名(各5万)	
	糸菊分担金	500,000	500,000	0	3,500部	
	卒業記念品費	1,300,000	1,882,120	△ 582,120	葉2,110個	
	活動基金	0	0	0	大学、高・中同窓会活動費	
	HP運営費	2,750,000	2,942,500	△ 192,500	ホームページリニューアルJ.COM更新料	
	活動費	1,260,000	1,231,838	28,162	各行事補助、ベントレー代、オーケストラ支援金	
行事関係経費	0	0	0			
2.管理費	人件費	5,500,000	4,606,500	893,500	事務職員給料 7名	
	設備維持費	600,000	381,318	218,682	名簿システム保守料、パソコン修理代	
	水道光熱費	300,000	259,851	40,149	ガス、水道料	
	備品費	200,000	30,360	169,640	ジャーボット他	
	会議費	2,960,000	1,934,094	1,025,906	常任・理事・評議員会・各委員会・支部参加費	
	交通費	2,775,000	1,971,370	803,630	常任・理事・評議員会・各委員会・支部参加費	
	通信費	1,997,000	1,898,974	98,026	会議案内の発送、切手代、メール便代	
	消耗品費	1,150,000	662,162	487,838	カウンター料、事務用品、お茶代	
	雑費・手数料	535,000	392,132	142,868	年会費振込手数料、貸金庫使用料	
印刷費	533,250	517,818	15,432	封筒、会則印刷代		
予備費	7,140,612	1,000,000	6,140,612	義援金(東日本大震災)		
3.積立金	事業積立金	2,000,000	20,759,658	△ 18,759,658	寄付金口座開設	
4.慶弔	慶弔費	600,000	330,445	269,555	入学式祝花、供花、弔電	
次期繰越金			14,082,626			
計	45,619,612	65,648,316	△ 20,028,704			

上記の通り報告いたします。

平成23年4月8日 会計 早田 芳子 小西 真代

上記監査の結果正当なものと同認めます。

平成23年4月8日 監査 菅沼 友子 芳村 尚子

# 椋山女学園同窓会 平成23年度予算書

平成23年4月23日 単位:円

収入の部					
項目	22年度予算額	23年度予算額	備考		
入会金	33,260,000	36,290,000	大1,216名@20,000、(楯高)279@10,000、高校196名・中学211名・小学校52名@20,000		
年会費	5,600,000	6,000,000	3,000名 @2,000		
維持管理費	20,000	20,000			
寄付金収入	-	-			
雑収入	3,000	3,000	コピー代等		
利息	18,000	15,000			
前年度繰越金	6,718,612	14,082,626			
計	45,619,612	56,410,626			
支出の部					
項目	22年度予算額	23年度予算額	備考		
1.事業費	会報発行費	5,500,000	5,500,000	会報 希望 印刷及び発送費	
	大会費	5,500,000	0	学園創立105周年記念同窓会総会・祝賀会	
	支部費	1,020,000	1,020,000	各6支部活動費	
	奨学金	1,000,000	1,000,000		
	糸菊分担金	500,000	500,000	3,500冊	
	卒業記念品費	1,300,000	1,800,000	葉2,000個	
	活動基金	8,315,000	9,080,000	大学同窓会678万円、高・中同窓会204万円、小学26万円	
	HP運営費	2,650,000	600,000	ホームページリニューアル	
	活動費	300,000	1,900,000	講演会、小学校同窓会発足 講師料、講師交通費代等	
2.管理費	人件費	5,500,000	5,000,000	事務職員給料6名	
	設備維持費	600,000	500,000	コピー機リース料、システム保守料	
	水道光熱費	300,000	300,000	ガス、水道料	
	備品費	200,000	400,000	パソコン	
	会議費	1,500,000	1,500,000	常任理事会・理事会・評議員会・委員会など参加費	
	交通費	1,500,000	1,600,000	事務員、各委員会、各会議交通費	
	通信費	250,000	250,000	会議案内の発送、切手代、メール代	
	消耗品費	1,000,000	700,000	セキサンカウンター料、事務用品、台所用品	
	雑費・手数料	500,000	650,000	振込手数料、税理士顧問料、貸金庫	
印刷費	250,000	250,000	会則、封筒、伝票印刷		
予備費	5,334,612	15,360,626	年度初め諸経費支払い分		
3.積立金	事業積立金	2,000,000	8,000,000		
4.慶弔	慶弔費	600,000	500,000	卒業・入学式祝花・供花	
計	45,619,612	56,410,626			

生活科学部 管理栄養学科 森奥研究室の学生有志が、  
米の消費拡大のための東海農政局と共同企画で多くのレシピを開発しました。  
なかでも中日新聞に掲載された“お米ん焼き”は榎大祭ではすぐに完売。  
デザインの間では学生によるクッキング教室が行われました。



昨年の大学祭にて

## お米ん焼き



### ●材料(2人分)●

キャベツ	40g
豚ばら肉	40g
米粉の中華めん	1/2袋(60g)
卵	1個
サラダ油	適量
塩	少々
コショウ	少々
お好み焼きソース	適量
マヨネーズ	適量

1人分  
**289kcal**  
調理時間  
**15分**

### ●作り方●

- ① キャベツは千切り、豚ばら肉は一口大に切る。
- ② 卵は溶いておく。
- ③ ①を炒め、塩・コショウする。
- ④ 米粉の中華めんは2分～2分半ゆでる。
- ⑤ ゆでた④の中華めんは2人分を1度に焼く。  
サラダ油をひいたフライパンに中華めんを広げて押しえつながら焼く。  
少し焦げ目がつく程度まで両面焼く。
- ⑥ 焼けた中華めんをフライパンから取り出し、サラダ油をひいて②で薄焼き卵を作る。
- ⑦ ⑥の中華めんを薄焼き卵の上のにせ、フライ返して半分に切り、2人分にする。
- ⑧ 炒めておいた③をそれぞれの中華めんの上のにせる。
- ⑨ 切れ目を入れてソースをかけ、半分に折って、完成。

\* 中華めんを焼く前に、めんがくっついてしまうようなら一度水にくぐらせる。

(米粉中華めん入手先)

小林生麺株式会社

TEL. 058-262-9374

<http://www.kobayashiseimen.jp/>

### 米粉の良いところ

- 「油を吸収しにくいので低カロリー」
- 「もちもちとした新食感」
- 「国産だから安心・安全」
- 「料理がかんたん」
- 「小麦アレルギー対策に注目の食材」



### e-生活情報センター「デザインの間」

アクセス: 地下鉄星ヶ丘駅⑥出口すぐ

営業時間: 10時～19時(水曜定休)

e-生活情報センター「デザインの間」とは、Reform Your Lifeをコンセプトに、中部電力が運営する住まいのための体感型ショールーム。IHキッチンなどオール電化情報に加え、家電や住宅設備、食品メーカーなどの企業と一緒に、よりよい暮らしのヒントを提案しています。「食」「デザイン」の面から、榎山の教授や学生とのコラボ企画も多数開催。



## 年会費納入のお願い

日頃は椋山女学園同窓会のためにご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

同窓会の活動は、会員の皆様の年会費と新入生の入会金によって運営されています。これらの納入金は、「会報」の発刊・発送・同窓会総会、講演会、記念事業、各学校同窓会活動費、支部活動費、卒業生への記念品贈呈等に使用して頂いております。殊に平成22年度より、学園、大学、高中、小学校同窓会は一本化され、財務・会計も一つとなり事業計画の新たな見直しをしております。具体的に充足できたのは、準会員を対象とする奨学金制度で皆様のご支援に感謝する次第です。

昨今の少子化現象により、同窓会も近い将来この影響を受け、現在のままでは同窓会の健全な財政を堅持することが困難と予測されます。それにより同窓会入会金に依存するよりも、むしろ年会費の徴収率の改善につとめるべきであると考えております。

年会費を払わなくても「会報はサービスで送付される」との誤解が一部の方々にあると聞いております。「会報」は母校と同窓会そして同窓会会員を繋ぐ唯一の手段であり、会員全員に送付できますことが同窓会の喜びであります。上記の主旨および経緯をご観察頂き、年会費納入のご協力を一層お願いする次第でございます。

皆様の益々のご健康とご発展を願っております。

年会費は1年2,000円です。同封の専用振込み用紙をご利用ください。

●口座番号(郵便振替) 00800-0-21950

●口座名 椋山女学園同窓会(いとぎく会)

自動継続引き落としをご希望の方は事務局にご連絡ください。

### 事務局より

ご結婚、転居などで名前、住所が変更された方は学園同窓会事務局へご連絡下さい。住所変更手続きの際、会員番号、卒業年度、学校、学部、生年月日等を確認させていただきます。また、ご家族、お友達など卒業生で郵送物が届かない方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡下さい。

学園同窓会事務局 TEL: 052-781-5952

FAX: 052-781-7197

メールアドレス: itogiku@og.sugiyama-u.ac.jp

### 市町村合併による地名変更について

市町村合併による地名変更の登録がされていないと、郵送物が届かなくなることがあります。事務局では可能な範囲で順次変更を行っておりますが、地名変更該当者におかれましては、事務局へ新住所のご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

### 個人情報の取り扱いについて

学園同窓会では、個人情報について以下の方針で取り扱い致します。

1. 情報の取り扱いについては法令その他の規範を厳守します。
2. 学園同窓会で皆様の個人情報をお尋ねする際はご自身の意思でご提供くださいますようお願い致します。
3. 皆様の個人情報は会報の発行および各種行事等のご案内、また皆様に連絡をとる必要が生じた場合以外での使用は致しません。

### 【退職者】

生活科学部	教授	脊山 洋右 先生
生活科学部	教授	高橋 勝六 先生
国際コミュニケーション学部	教授	石川 勝二 先生
国際コミュニケーション学部	准教授	Heigham Juanita 先生
国際コミュニケーション学部	准教授	Jon Catanzariti 先生
人間関係学部	准教授	音喜多 信博 先生
人間関係学部	准教授	鎌田 大資 先生
文化情報学部	教授	大木 圭之助 先生
教育学部	教授	梶田 正巳 先生
高等学校	教諭	太田 ふみ子 先生
高等学校	教諭	木村 昌夫 先生
高等学校	教諭	高橋 勇 先生
高等学校	教諭	玉井 由紀子 先生
高等学校	教諭	半田 和男 先生
高等学校	教諭	森 誠治 先生
高等学校	教諭	森田 良彦 先生
中学校	教諭	三浦 正典 先生

永年、学園の教育にご尽力いただきましてありがとうございました。

### 【訃報】

現職員 生活科学部	教授	木村 友子 先生	平成23年5月8日
現職員 文化情報学部	教授	森本 伊知郎 先生	平成23年3月6日
現職員 高等学校	教諭	滝 和弥 先生	平成23年2月21日

～謹んでお悔やみ申し上げます～

### ご寄付

会報誌にはお名前が載っております。

### ご寄贈

同窓会  
ホームページ



<http://www.og.sugimaya-u.ac.jp/itogiku/>

### 編集後記

同窓会が一体となり、全てを集約する創刊号となりました。「希望」というタイトルと、「人」をテーマとした創刊号。本当にたくさんの皆様のお力を頂戴し、椋山女学園同窓会報「希望」満足度120%のリニューアル創刊号が出来上がりました。ここに会報委員会一同、心から御礼申し上げます。ありがとうございました!



平成23年3月5日 会報委員会にて